

田野畑発

夏休みだ！海だ！

田野畑村では震災後初めてとなる海開きが、机浜で行われました。机浜は、今回新たに海水浴場として整備され、この日から夏休みという地元の小学生たちがさっそく海へと入りました。海水浴場は8月16日まで開設されています。(7/26 ニュースエコー)



大槌発

住民監査請求を棄却



大槌町旧役場庁舎の解体は、震災遺構の価値を見誤った行為であるなどとして、住民が解体停止を求めた住民監査請求につ

いて、町の監査委員は請求を棄却する決定を出しました。監査委員は、内容そのものが監査請求の対象になっておらず、指摘されるような違法性も認められないとしています。(7/26 ニュースエコー)

宮古発

復興応援の縦断リレー

青森から東京までをランニングと自転車をつなぐ「未来(あした)への道 1000km 縦断リレー」が宮古を出発しました。震災の記憶の風化を防ぎ、被災地の人たちとの絆を深めようというもので、この日は、オリンピックメダリストや市民が宮古市内およそ2キロを走りました。リレーは、8月7日に東京にゴールする予定です。(7/27 ニュースエコー)



釜石発

玄関口を盛り上げよう



来年のラグビーワールドカップや三陸鉄道リアス線全線開通に向けて、釜石の玄関口を盛り上げようと「釜石駅前夏祭り」が初めて開かれました。駅周辺には、

ワカメをあしらったホタテ浜焼きの店など20店ほどが立ち並びました。子どもたちの流しソーメンも行われ、歓声があがっていました。(7/28 ニュース)

宮古発

海の守り神を再建

震災で流失した宮古の赤前「御前堂(ごぜんどう)」が再建されました。御前堂は、300年あまり前にクジラの大群が現れ飢きに苦しむ人たちが救われたことから、クジラの骨をご神体としてまつてきました。今回、別の場所のクジラの骨を譲り受けて再建されたもので、神事の参列者は海の守り神に安全と大漁を祈っていました。(7/30 ニュースエコー)



陸前高田発

津波高示す看板を移設



震災の津波の高さを示した陸前高田市のガソリンスタンドの看板が店舗移転のため撤去されました。海にほど近い一角で、震災後、店の再開にあわせて

津波の高さ15.1メートルを示す文字や矢印を記し、津波の教訓を伝えてきました。看板は2キロほど離れた新店舗に移設され、震災を伝え続けます。(7/31 ニュースエコー)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから<http://www.ibc.co.jp/>

IBC復興支援室事務局 019-623-3122